

事業概略書

事業名	ロボット等を活用した障害者支援手法の開発に向けた調査研究事業
事業目的	<p>現在、国ではロボットの開発・導入に向けた様々な施策が先行して展開されており、障害福祉分野においても職員の負担軽減や業務の効率化、支援の質の向上などの観点から期待が寄せられている。</p> <p>しかしながら、当該分野では、ロボット介護機器を活用することが負担軽減や生産性向上を通じた職場環境の改善に効果的かという点や、ロボット介護機器の活用を前提とした支援手法のポイントなどが整理されていない現状がある。</p> <p>そこで、本事業では、障害福祉サービスの業務やそこに対するロボット介護機器等の導入時のポイントやプロセスを把握するとともに、導入のポイントを整理した上で、関係機関等へのロボット介護機器導入を検討する機会の提供に向け、調査研究を実施した。</p>
事業概要	<p>本事業では、主に身体・知的・精神の3障害の障害児者向けサービス事業所を対象とするアンケート調査を実施し、COVID-19状況下における事業所の業務量や業務負担等に関する実態を把握するとともに、ロボット介護機器の導入状況や導入にあたっての課題、期待されるロボット介護機器の機能等について把握した。</p> <p>併せて、既にロボット介護機器等を導入している障害福祉サービス事業所に対して、ヒアリング調査を実施し、ロボット介護機器等を導入する際のポイントやプロセスの実態等について把握するとともに、ロボット介護機器の活用により、支援行為ごとの具体的な機器活用のポイントを整理した上で、事業成果として報告書及び報告書概要版を作成した。</p>
事業実施結果及び効果	<p>アンケートやヒアリングの結果により、障害福祉サービス事業所のロボット介護機器等へ実態や課題等について把握することができた。特にアンケートでは、業務実態やロボット介護機器等の導入状況等を定量的なデータとして把握することができ、今後のロボット介護機器等の開発・導入に向けた施策を進めるための基礎資料として十分に役立つものと考える。</p> <p>また、「今後の開発・普及に向けた提言」について、開発面及び導入・普及面から提言を掲載したほか、報告書概要版では既に導入しているロボット介護機器等の事例やポイントを紹介すること等により、今後のロボット介護機器等の導入促進に向けた議論や検討を進めることができると考える。</p>
事業主体	<p>郵便番号：220-8616</p> <p>所在地：神奈川県横浜市西区みなとみらい3-1-1</p> <p>法人名：株式会社浜銀総合研究所</p> <p>電話番号/E-MAIL：045-225-2372 / kaigo@yokohama-ri.co.jp</p>